

「ディスカバー農^む山^ら漁村の宝」 （第5回選定）

第2回有識者懇談会概要

1. 日 時：平成30年10月17日（水）13：50～14：20
2. 場 所：総理官邸2階小ホール
3. 出席者：吉川農林水産大臣、片山内閣府特命担当大臣（地方創生担当）、西村内閣官房副長官、杉田官房副長官、青木内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付）、室本農村振興局長
林座長、今村委員、織作委員、田中委員、藤井委員、向笠委員、横石委員（欠席：あん委員、永島委員、三國委員）

4. 概 要：

○林座長から開会挨拶

- ・ 本年度で5回目を迎える「ディスカバー農山漁村の宝」の応募件数は増加を続け、今回は、1,015件の応募となった。
- ・ 本日は、選定地区の決定、委員にも参加いただいた現地調査結果及び2019年度の展開について活発に意見交換を行ってまいりたい。

（室本農村振興局長から、資料に基づき、選定地区、現地調査結果及び2019年度の展開について説明。その後、委員からいただいた主な御意見は以下のとおり。）

- ・ 北海道芽室町の事例の現地調査に行ったが、企業と連携してうまくいっており、地に足をつけた取組が良かった。
- ・ 現地の方は、（交流会で）総理と接することができたのがディスカバーのメリットと言っており、大人数では無く少人数での写真が撮れるといいのでお願いしたいとのことだった。
- ・ 農政局の支局も現場に目を配ってやっており、支局が現場との間に入るのはいいこと。
- ・ 鳥羽市の事例の現場に行ったが、海と山の産物があり、JAやJFと一体となっていてがんばっているいい事例。団体の方の熱意はすごい。
- ・ 一方で、女性目線がやや弱いのと、ご当地ならではのメニューにするなどの工夫が必要というのが課題と感じた。
- ・ 今回の選定での尾鷲の事例は、地域おこし協力隊の方が参加しているが、このような中央の制度からの働きかけがあるのは良いこと。
- ・ 有田市のみかん生産法人へ現地調査に行った。30代後半の若い経営者ががんばっており、自社だけでなく他社からもみかんの供給をやっており、安定供給できている。
- ・ すばらしい経営と安定供給というところが、6次産業化のモデルとして良い事例だと思う。

- ・ディスカバーについては、交流会をやってほしいのと、知名度やイメージが上がるといいということだった。
- ・選定された地区の方々が益々輝いていくようなインフラづくりが大切。
- ・選定はスタートであり、ディスカバーという発見から、発信を進めていくという段階が重要。
- ・石川の休耕田を活用したビール造りの事例を見に行った。北陸新幹線の車内販売もされているビールで、海外への展開もやっている。
- ・製造したビールへディスカバーのマークを入れることは、今回は断念したようだが、シールを商品に貼るくらいはできるかもしれないと思う。
- ・ディスカバーでうれしかったのは、総理との写真とのことだった。
- ・以前と比べて、（各地区の）ブランディングが上手になったと思う。
- ・ディスカバーの発表をショウアップして、より広く、一般に知らしめることが大事。総理や我々からやるというのでもいい。
- ・横石委員と北海道の事例調査に行ったが、交流会での総理との写真を飾っていた。
- ・今年は1,015件の応募があり、中には毎年応募している団体もあるだろう。地方版を入れても1割しか選定されない。今年は、応募団体に御礼の手紙を送りたいと思うが、例えば5回応募した団体には「のぼり」を差し上げるなどの対応も、将来的には考えてはどうか。

（片山内閣府特命大臣（地方創生担当））

- ・ディスカバーで選定された取組は地方創生に不可欠なインパクトを与えている。
- ・選定された地区には、女性や障害者など多様な方々が活躍しており、北海道芽室町の事例には以前行ったことがあり素晴らしい取組。
- ・ディスカバーの取組が地方創生に一層つながっていくことを期待。

（吉川農林水産大臣）

- ・現地に行かれた委員の話を聞いて、農業の力強さと、将来に向けた可能性について改めて感じたところ。
- ・現地での意見も参考にしながら、ディスカバーの今後の取組を進めたい。

（西村内閣官房副長官）

- ・総理との写真が有効との意見もあったので、交流会の時に総理の時間をとるようできるだけ配慮したいと思う。

（林座長）

- ・意見交換を終了する。
- ・第5回選定の32地区について了承することでよろしいか。

（異議なしの声）

- ・では32地区を選定することとする。
- ・2019年度の展開については事務局で検討していただきたい。

- ・閉会にあたり、内閣府特命担当大臣と農林水産大臣から発言をいただくのでプレスを入室させる。

《プレス入室》

○閉会ご発言

（片山内閣府特命大臣（地方創生担当））

- ・ディスカバー農山漁村の宝は今年で５回目の選定で本日 32 地区が選定。
- ・これまでとあわせ 143 事例が選定。それぞれの選定地区は地方創生に必要なインパクトを与えている。
- ・選定地区では、若者、高齢者、女性、障害者など多様な方々が活躍。
- ・今回選定された地区の取組が全国に広まり、地方創生の推進につながっていくことを期待。

（吉川農林水産大臣から挨拶）

- ・我が国の農山漁村の魅力に海外からも関心が高まるなか、ディスカバー農山漁村の宝の応募も 1 千件を超えた。
- ・本日選定の 32 地区は地域を舞台に工夫を凝らした取組ばかり。
- ・大豆の在来種を活用して生産者が 5 年で 1.5 倍になった地区や、林業・木材業の分野で 15 人の U I ターン者が新規就業した地区など、地域経済にも好影響をもたらしている。
- ・本日は、5 年間の総まとめや情報発信を行うサミットを来年開催することも議論。
- ・選定地区の更なる飛躍や全国への横展開に積極的に取り組んでいく。

《プレス退室》

（林座長）

- ・次回会合は事務局より別途連絡。
- ・本日は御多忙のところ御出席いただき感謝。

（以 上）